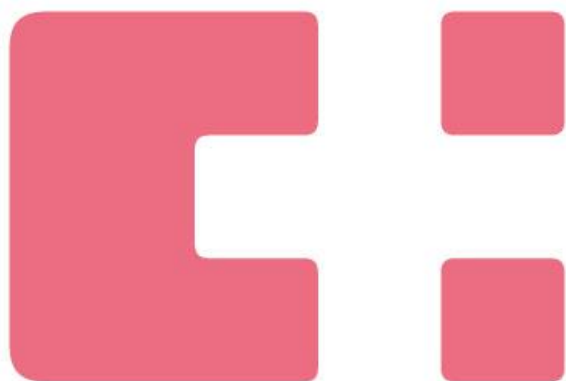


2017年3月期 第2四半期 決算説明会



ココカラファイン

ココロ、カラダ、ゲンキ。

2016年11月25日
(証券コード: 3098)

2017年3月期 上期決算概要

3

業績ハイライト

計画対比(P/L)

前年同期対比(P/L)

売上高伸長率推移

商品分類別売上構成

売上総利益率改善状況

販売管理費改善状況

要因別利益変動(前期比較/経常利益ベース)

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

2017年3月期 見通し

14

出退店実績・計画

連結業績の見通し

2017年3月期 重点施策の現況報告

17

□ドラッグストア事業

■既存店の活性化

■効率化の推進

□調剤事業

■診療報酬改定の影響と対策

■調剤事業計画と『健康サポート薬局』の推進

経営戦略

23

□いつでも どこでも どなたでも ココカラファイン

□地域におけるヘルスケアネットワークの構築

□中期計画

IRコンタクト

32

2017年3月期 上期決算概要

【ドラッグストア事業】

- ・ **施策** 積極的な店舗改装など既存店の活性化策 → 57店舗の店舗改装により既存店業績を押し上げ
- ・ **施策** 会員カードのプリペイド売上比率向上(上期平均:前期7.4%→当期16.6%)等顧客戦略を推進
- ・ **環境** ブローカー買い減少により一部インバウンド関連商品の売上減少
- ・ **環境** 度重なる台風等の天候不順による客数減
- ・ **課題** 商品構成の変動による利益ミックス対応策の遅れ→売上総利益率の低下

【調剤事業】

- ・ **施策** 薬価・診療報酬改定の対応→ほぼ想定通り
- ・ **環境** C型肝炎治療薬の患者数の急激な減少→利益に及ぼす影響は限定的
- ・ **課題** 薬剤師増等による一時的な経費増

【出退店状況】

- ・ 出店14店舗、退店27店舗を行い、9月末店舗数は1,294店舗(内調剤取扱 238店舗)

【介護事業】

- ・ **施策** 訪問介護事業を展開する(株)山本サービスを子会社化し業績寄与

【まとめ】

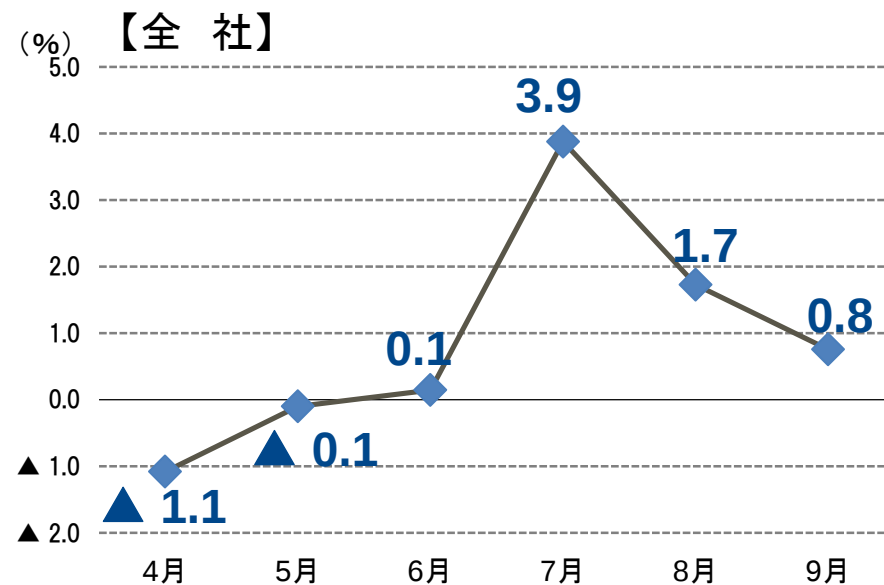
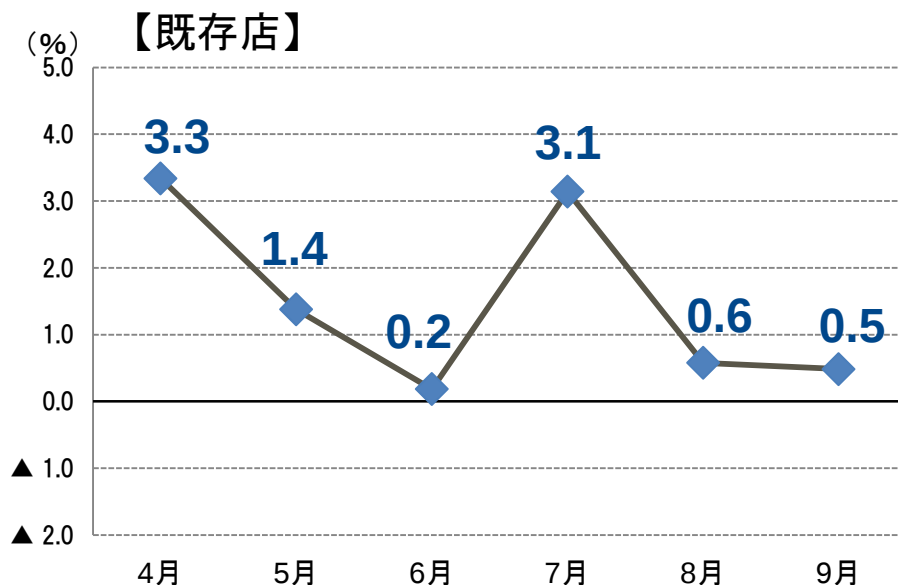
- ・ 当初計画していた様々な重点施策は順調に進捗し結果を残すことができましたが、主にドラッグストア事業における環境要因による売上減や、施策に一部課題を残したことにより、増収減益となりました。

	2017年3月期 上期計画	2017年3月期 上期実績	計画差異	計画比 (%)	計画比増減要因
売上高	193,000 (100.0%)	188,485 (100.0%)	▲4,514	97.7	◇ 既存店増収率 計画+4.2% → 実績+1.5% ・ブローカー買い減少 ・度重なる台風等の天候不順による 客数減 ・C型肝炎治療薬の患者数の急激な 減少
ドラッグストア・ 調剤	175,300	169,924	▲5,376	96.9	
卸売・介護	17,700	18,561	+861	104.9	
売上総利益	49,630 (25.7%)	47,680 (25.3%)	▲1,950	96.1	◇ ドラッグストア物販売上総利益率変動 ・商品構成の変動による利益ミックス 対応策の遅れ (前期26.3%→計画26.6% →今期26.2%)
販売管理費	43,560 (22.6%)	43,784 (23.2%)	+224	100.5	◇ 販管費増 ・薬剤師増、店舗改装等の先行投資
営業利益	6,070 (3.1%)	3,896 (2.1%)	▲2,173	64.2	
経常利益	7,190 (3.7%)	5,158 (2.7%)	▲2,031	71.7	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,200 (2.2%)	2,915 (1.5%)	▲1,284	69.4	

前年同期対比(P/L)

(単位:百万円)

	2016年3月期 上期実績	2017年3月期 上期実績	増減	前期比 (%)	前期比増減要因
売 上 高	186,798 (100%)	188,485 (100.0%)	+1,687	100.9	◇ 既存店増収率+1.5% ・店舗改装を中心とした既存店の活性化 ・免税対応店舗数増加 ・ブローカー買い減少 ・天候不順による客数減 ・薬価、調剤報酬改定による押し下げ ◇ 前期(株)岩崎宏健堂決算期変更(2月→3月)により1か月分の売上減 ◇ 出店:14店、退店:27店 ◇ 取引先数増加等により卸売増
ドラッグストア・ 調剤	170,154	169,924	▲230	99.9	
卸売・介護	16,644	18,561	+1,917	111.5	
売上総利益	47,949 (25.7%)	47,680 (25.3%)	▲269	99.4	◇ ドラッグストア物販売上総利益率変動 ・商品構成の変動による利益ミックス 対応策の遅れ (前期26.3%→実績26.2%) ◇ 利益率の低い卸売の売上構成比の増加
販売管理費	42,587 (22.8%)	43,784 (23.2%)	+1,197	102.8	◇ 販管費増 ・薬剤師増、店舗改装等の先行投資等
営業利益	5,362 (2.9%)	3,896 (2.1%)	▲1,466	72.7	
経常利益	6,570 (3.5%)	5,158 (2.7%)	▲1,412	78.5	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,790 (2.0%)	2,915 (1.5%)	▲875	76.9	



既存店(累計) 売上高: 1.5%増 客数: 0.9%増 客単価: 1.0%増

※ 客数・客単価: 調剤を除く、小売のみの実績

既存店

- 一部インバウンド関連商品の需要減
- 薬価・診療報酬改定による押し下げ
- 店舗改装を中心とした既存店舗の活性化
- 4～5月: 夏物季節商材の低迷
- 8～9月: 度重なる台風などの天候不順による客数減

全社

- 4月: 前期(株)岩崎宏健堂決算期変更(2月→3月)による対昨年比マイナス

		2016年3月期 上期実績			2017年3月期 上期実績		
		売上高(百万円)	構成比	前期比	売上高(百万円)	構成比	前期比
医	薬	51,683	30.4	106.0	50,625	29.8	98.0
	うち 調 剤	23,883	14.0	107.9	23,859	14.0	99.9
化	粧	50,539	29.7	111.5	50,877	29.9	100.7
健	康 食 品	6,018	3.5	119.9	5,379	3.2	89.4
衛	生 品	20,520	12.1	110.4	19,689	11.6	96.0
日	用 雑 貨	24,276	14.3	105.1	24,694	14.5	101.7
食	品	17,118	10.1	111.9	18,658	11.0	109.0
全	店 計	170,154	100.0	109.0	169,924	100.0	99.9
卸	売	15,519	－	108.4	17,327	－	111.6
小	計	185,673	－	109.0	187,251	－	100.8
介	護 事 業	1,125	－	103.5	1,234	－	109.7
※セグメント間取引消去		▲0	－	－	▲0	－	－
全	社 計	186,798	－	108.9	188,485	－	100.9

■ ブローカー買い減少の影響が大きい商品分類 : 医薬品・化粧品・健康食品・衛生品

＜その他要因＞

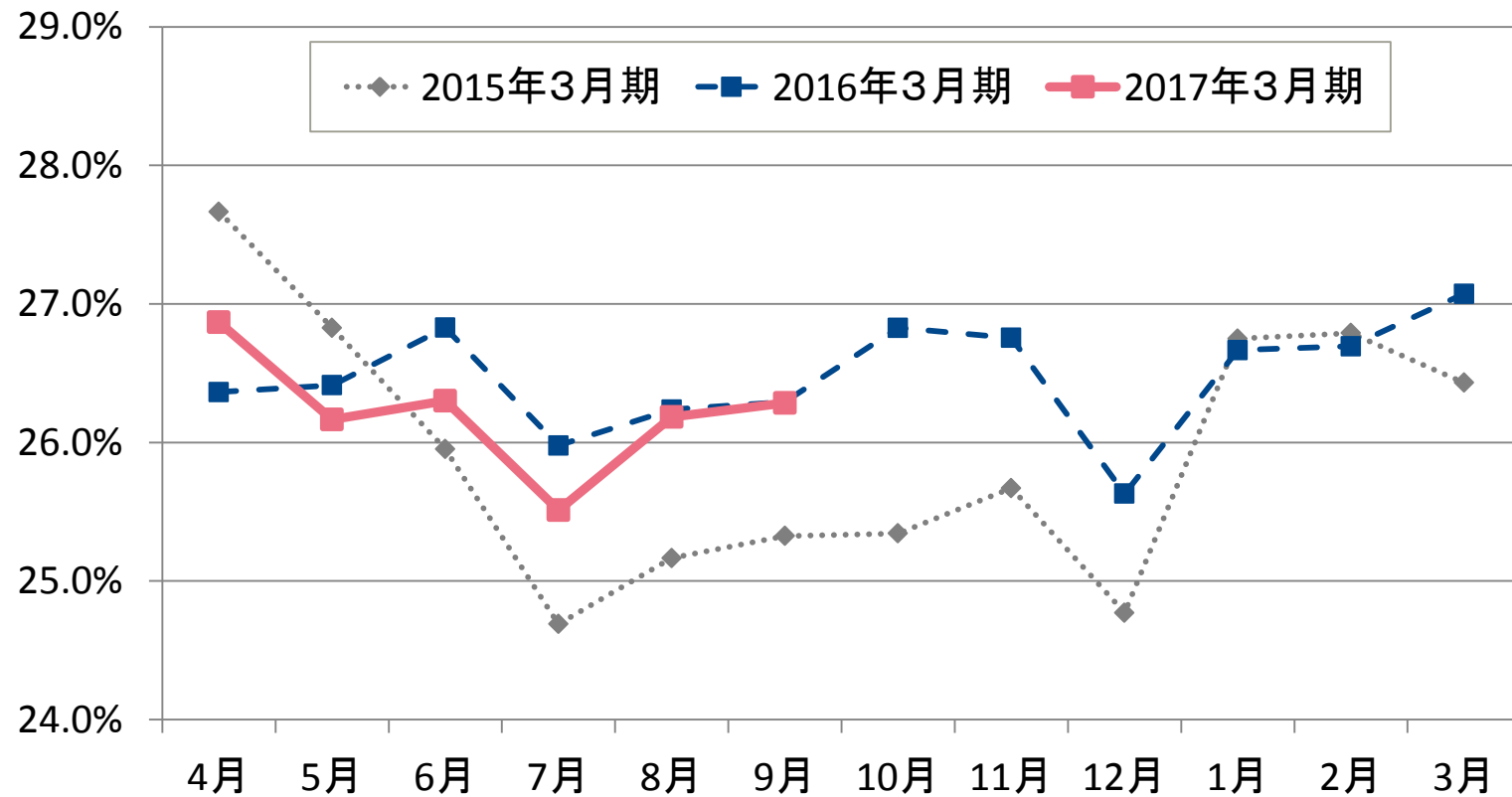
■ 調 剤 : 薬価・診療報酬改定の影響により押し下げ

■ 食 品 : 店舗改装やレイアウト変更による機能強化

■ 卸 売 : 取引先数増加等

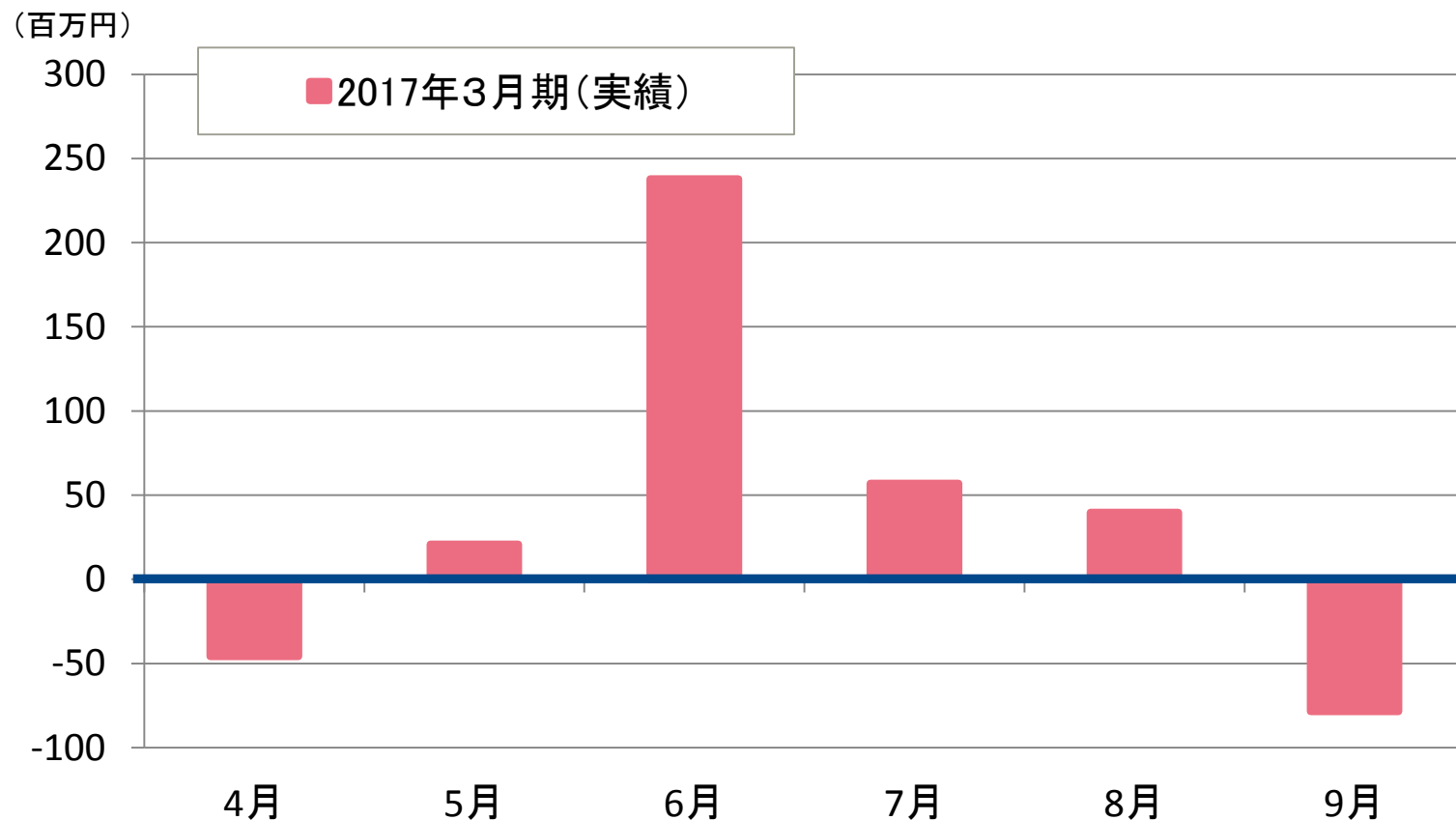
■ 介護事業 : 2016年4月に子会社化した(株)山本サービスによる業績寄与

(ドラッグストア物販) 売上総利益率推移



第2四半期以降 営業施策により売上総利益率は改善傾向

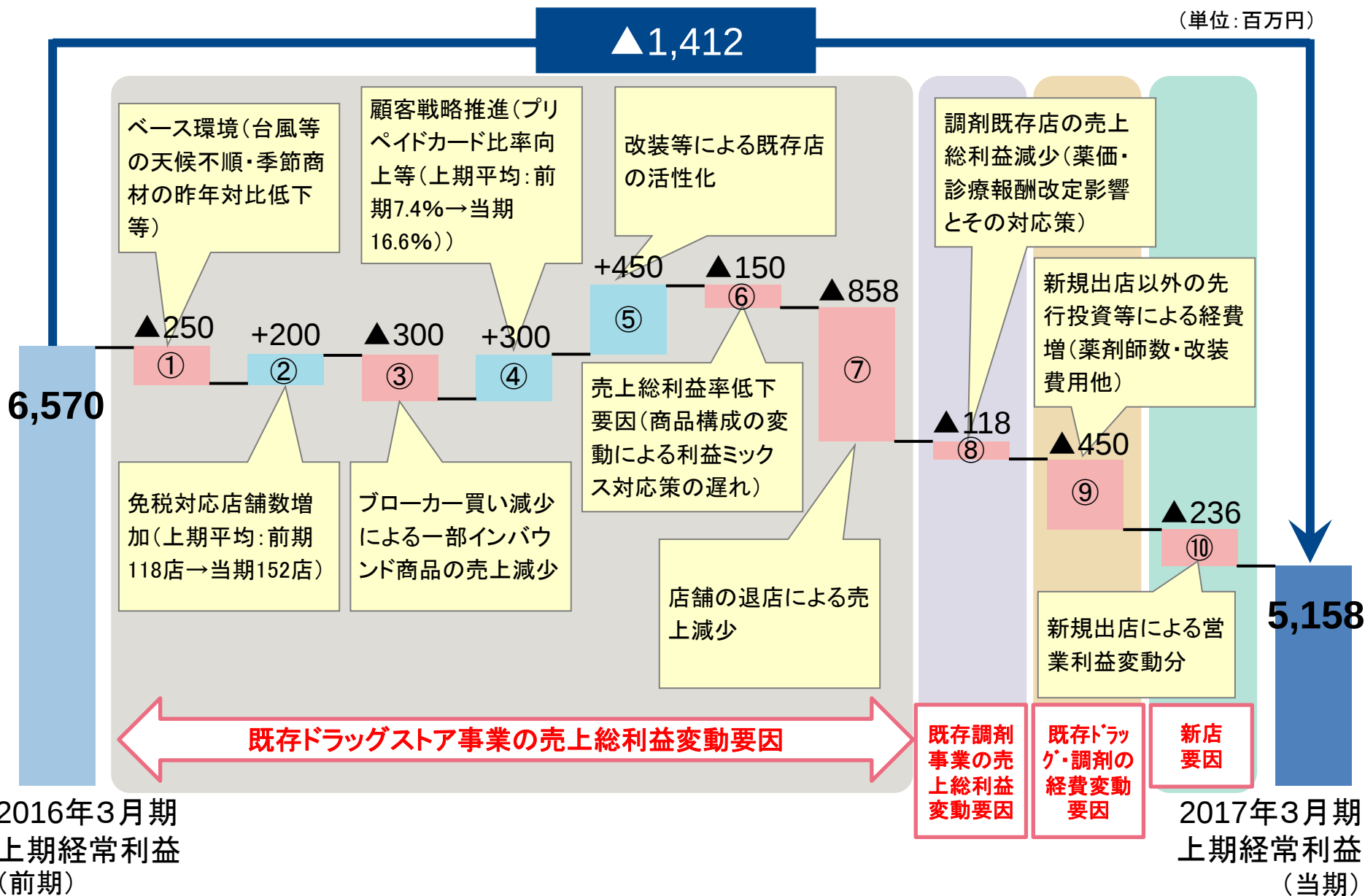
販売管理費合計 期初計画比増減



第2四半期以降 経費コントロールによる適正化

要因別利益変動(前期比較/経常利益ベース)

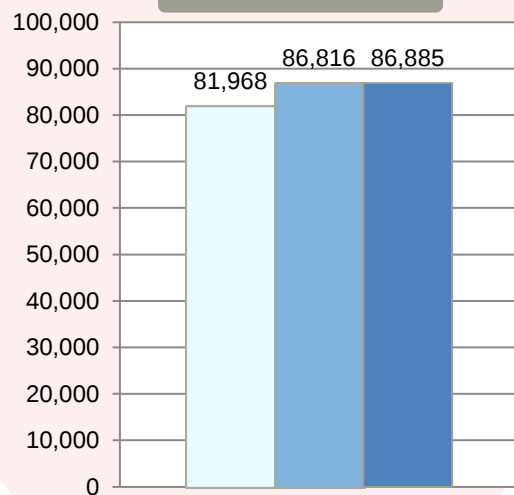
(単位:百万円)



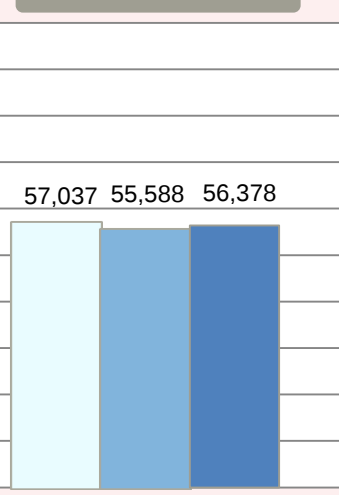
■ 2015年9月末
 ■ 2016年3月末
 ■ 2016年9月末

(百万円)

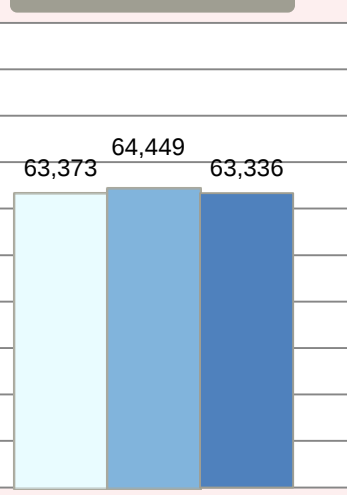
流動資産



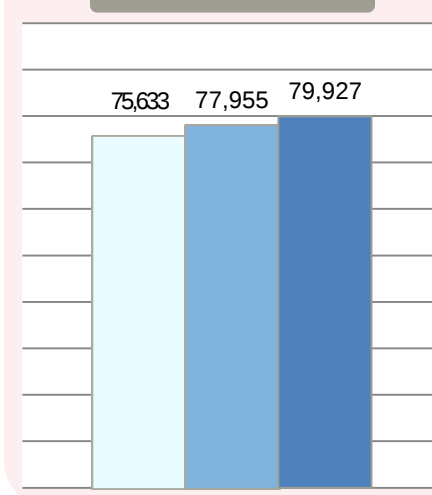
固定資産



負債



純資産



2016年3月期末との比較

(単位: 百万円)

流動資産 +69

現金及び預金	▲955
売掛金	▲281
その他	1,059

固定資産 +790

有形固定資産	+657
無形固定資産	+276
投資その他の資産	▲144

負債 ▲1,112

流動負債	▲1,273
固定負債	+160

純資産 +1,971

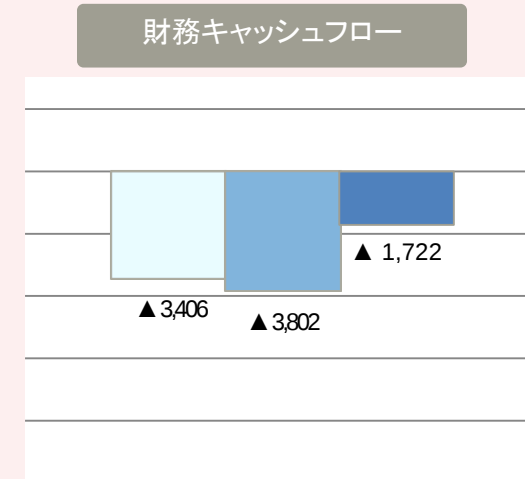
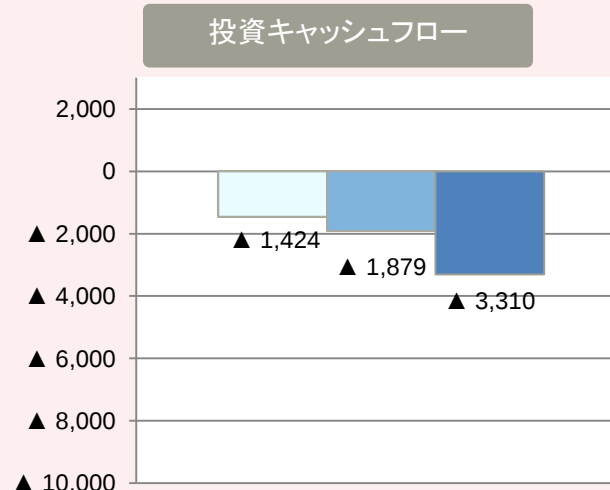
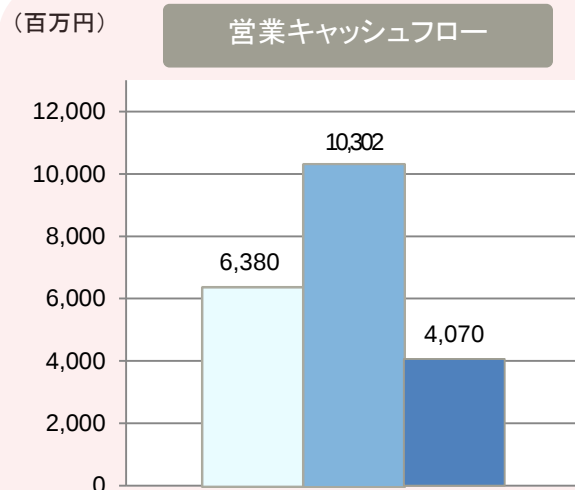
利益剰余金	+1,934
-------	--------

連結キャッシュフロー計算書

2015年3月期上期

2016年3月期上期

2017年3月期上期



2017年3月期上期の主な状況

(単位: 百万円)

営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	4,862
減価償却費及びその他の償却費	1,760
仕入れ債務の増減額 (▲は増加)	1,492
法人税等の支払額	▲4,201

投資キャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出	▲2,140
無形固定資産の取得による支出	▲431
事業譲渡による支出	▲407

財務キャッシュフロー

短期借入金の増減額 (▲は減少)	▲600
配当金の支払額	▲982
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲963

2017年3月期 見通し

	期首	2017年3月期 上期実績				2017年3月期 通期修正計画			
		出店	退店	業態変更	期末	出店等	退店	業態変更	通期末
ココカラファイン	1,307	+14	▲27	-	1,294	+20	▲30	-	1,297
(内、調剤取扱店舗数)	232	+7	▲1	-	238	+9	▲1	-	240
ココカラファインヘルスケア	1,249	+13	▲27	-	1,235	+19	▲30	-	1,238
ドラッグストア	1,120	+7	▲27	▲1	1,099	+13	▲30	▲1	1,102
調剤専門店	129	+6	-	+1	136	+6	-	+1	136
岩崎宏健堂	58	+1	-	-	59	+1	-	-	59

	2017年3月期 上期実績	2017年3月期 通期修正計画(10/31発表予想)
設備投資(百万円)	3,398	5,000
合計(百万円)	4,864	10,543
当期純利益(百万円)	2,915	6,800
減価償却(百万円)	1,760	3,459
のれん償却(百万円)	189	284

	2017年3月期 上期実績	2016年3月期下期 実績		2017年3月期下期修正予想 (10月31日発表)			2016年3月期通期 実績		2017年3月期通期修正予想 (10月31日発表)		
	百万円 (構成比)	百万円 (構成比)	前期比	百万円 (構成比)	前期比	増減	百万円 (構成比)	前期比	百万円 (構成比)	前期比	増減
売上高	188,485 (100.0%)	186,477 (100.0%)	104.9	189,015 (100.0%)	101.4	+2,538	373,275 (100.0%)	106.9	377,500 (100.0%)	101.1	+4,225
ドラッグストア・調剤	169,924	169,492	104.7	171,346	101.1	+1,854	339,646	106.8	341,270	100.5	+1,624
卸売・介護	18,561	16,985	107.5	17,669	104.0	+684	33,629	107.8	36,230	107.7	+2,601
売上総利益	47,680 (25.3%)	48,119 (25.8%)	105.7	49,363 (26.1%)	102.6	+1,244	96,068 (25.7%)	108.2	97,043 (25.7%)	101.0	+975
販売管理費	43,784 (23.2%)	42,362 (22.7%)	100.5	43,159 (22.8%)	101.9	+797	84,949 (22.8%)	100.6	86,943 (23.0%)	102.3	+1,994
営業利益	3,896 (2.1%)	5,757 (3.1%)	171.6	6,204 (3.3%)	107.8	+447	11,119 (3.0%)	254.4	10,100 (2.7%)	90.8	▲1,019
経常利益	5,158 (2.7%)	6,891 (3.7%)	153.7	7,342 (3.9%)	106.5	+451	13,461 (3.6%)	204.7	12,500 (3.3%)	92.9	▲961
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,915 (1.5%)	3,137 (1.7%)	449.4	3,885 (2.1%)	123.8	+748	6,927 (1.9%)	417.7	6,800 (1.8%)	98.2	▲127

2017年3月期 重点施策の現況報告

- ドラッグストア事業

- 調剤事業

経営戦略

- いつでも どこでも どなたでも ココカラファイン

- 地域におけるヘルスケアネットワークの構築

- 中期計画

2017年3月期 重点施策の現況報告

□ ドラッグストア事業

■ 既存店の活性化

- ・店舗改装による既存店の活性化

■ 効率化の推進

- ・最新モバイル端末活用による店舗作業の効率化

□ 調剤事業

■ 診療報酬改定の影響と対策

■ 調剤事業計画と『健康サポート薬局』の推進

店舗改装による既存店の活性化

クラスターごとにプロトタイプ店舗の水平展開を推進

都市型／149店舗

ビューティケアの充実、トレンドを取り入れた売り場づくり



商店街型／322店舗

店頭プロモーションの充実、シーズン品の訴求強化



住宅地型／413店舗

ホームケア・食品の拡充等、用途・機能を満たす品揃え



郊外型／215店舗

食品の充実等、ワンストップショッピングができる品揃え



(店舗数は2016年9月末時点)

店舗改装の進捗と計画

	前期 上期	当期 上期	当期 通期計画
改装店舗数 (看板変更・小改装含む)	72店舗	80店舗	100店舗
(内500万円以上)	41店舗	57店舗	70店舗

最新モバイル端末活用による店舗作業の効率化

～2013年3月期 システム統合

～2015年3月期 店舗運営の統一

～2017年3月期 最適化

店舗作業用モバイル端末全店導入

- レジで **POS** を使用し「売価調整」
- 店舗内事務所で **パソコン** を使用し「商品検索」、「販売実績参照」
- 売場で **PDA** を使用して発注業務

2016年6月
デバイスを一本化



新システム「Aoi」
All Output Inputの頭文字

時間の効率化・生産性の向上

1店舗1日20分の業務改善

年間約15万時間の効率化

機会ロス削減

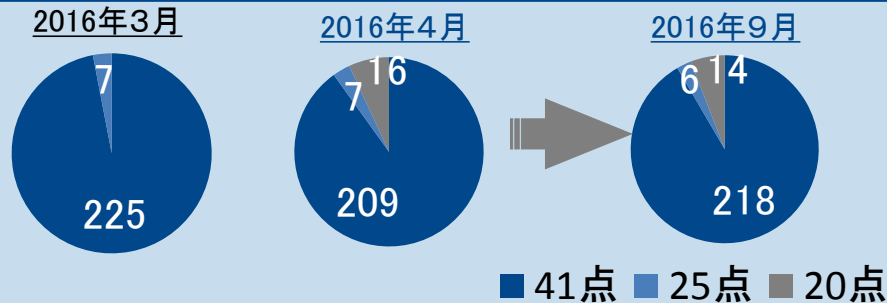
欠品率
10%改善

診療報酬改定の影響と対策

(グラフ内の数値は該当店舗数)

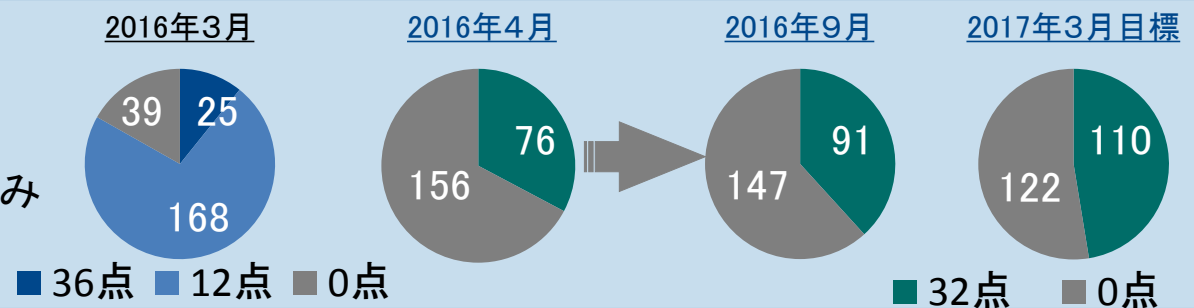
影響 1 調剤基本料

要件変更により
一部店舗での加算点数減少



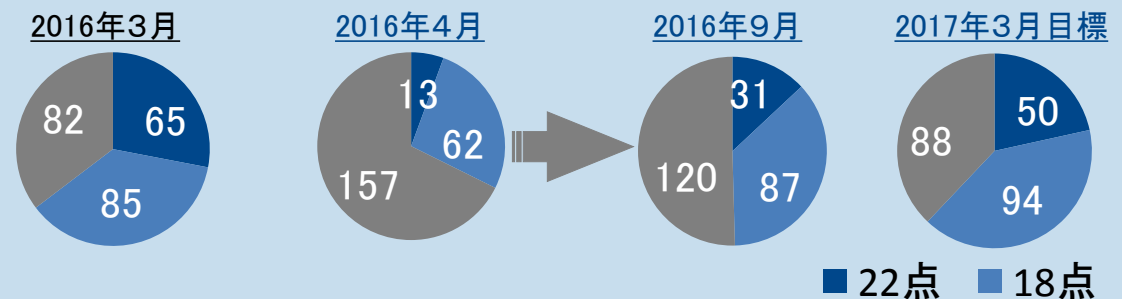
影響 2 基準調剤加算

- ・在宅調剤等への取り組み強化
- ・「かかりつけ薬剤師」への取り組み



影響 3 後発医薬品調剤体制加算

- ・ジェネリック医薬品への取り組み



影響 4 薬価改定

薬価差益額の減少

調剤事業計画

調剤報酬

(2016年9月)

(2017年3月期計画)

(2016年3月期)

502億円

238億円

486億円

総拠点数

(2016年9月)

(2017年3月 計画)

(2016年3月)

232拠点

238拠点

240拠点

『健康サポート薬局』の推進

『かかりつけ薬剤師』の育成を中心に、業務の標準化・高度化を推進

1) セルフメディケーション・生活全般のQOL向上へのアドバイスを含む
検体測定室や健康相談会等の実施による自己健康管理機能の充実

2) 在宅調剤の拡大と
介護連携の強化

在宅調剤拠点数

2016年3月 137拠点

2016年9月

167 拠点

2017年3月目標

200 拠点

3) 認知症・糖尿病・がん患者様個々へのサポートが出来る
専門薬剤師・専門スタッフ人財の育成

4) 調剤薬局における
物販機能を拡充

物販売上2016年3月期

対前年比 123%

2017年3月期 上期

対前年比 132 %

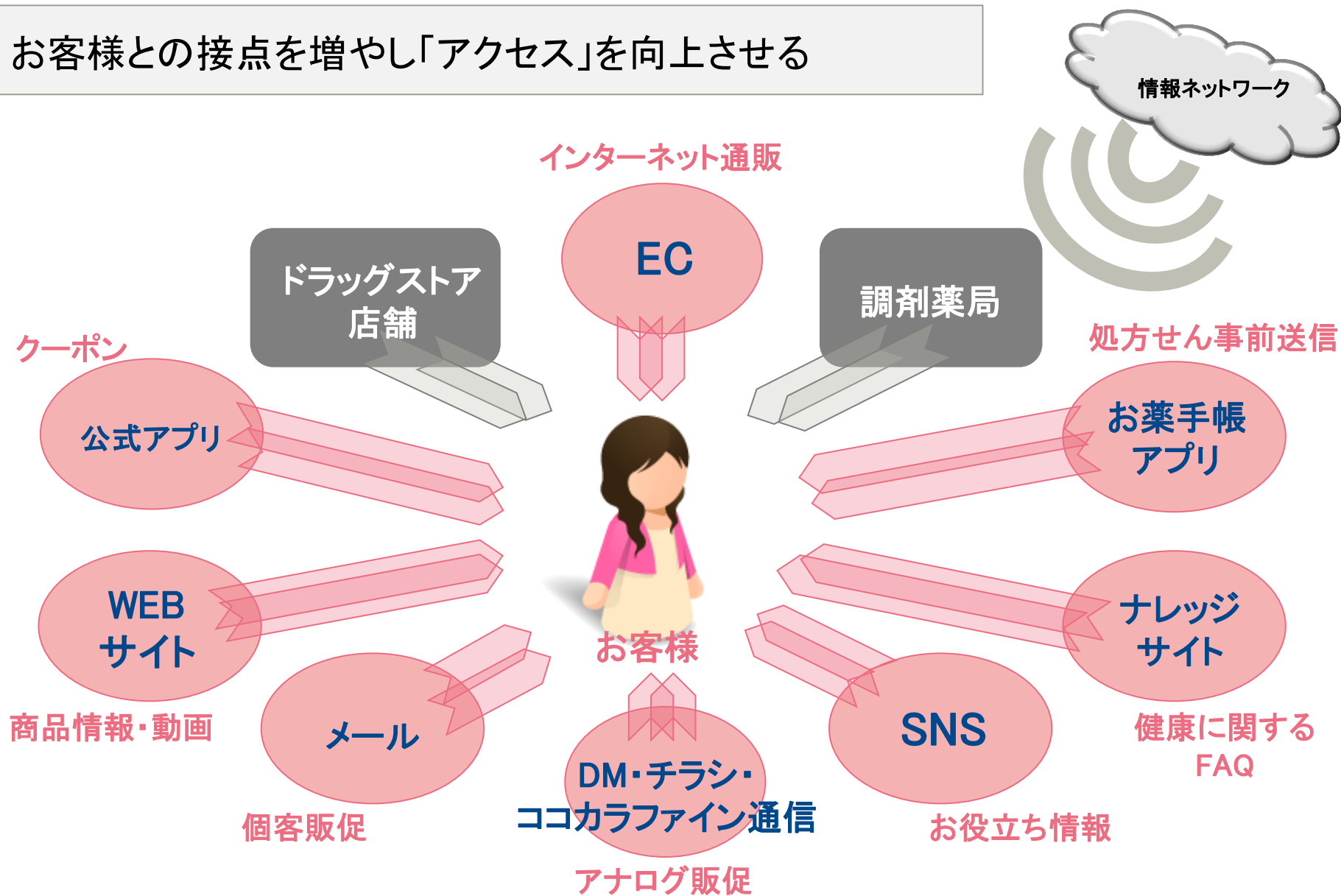
2017年3月期目標

対前年比 130 %

経営戦略

- いつでも どこでも どなたでも ココカラファイン
- 地域におけるヘルスケアネットワークの構築
- 中期計画

お客様との接点を増やし「アクセス」を向上させる



コミュニケーションプラットフォーム構築の進捗状況

アプリ

2016年 6月

アプリ スタート



ポイントカードとの連動

→スマートフォンがポイントカードに

ゲーム・デイリープレゼント

→ココカラファインがもっと身近に

WEBサイト

2016年 10月

お客様向けWEBサイトを統合

公式サイト、会員サイト、ECサイトを統一

公式サイト

会員サイト

ECサイト



公式サイト



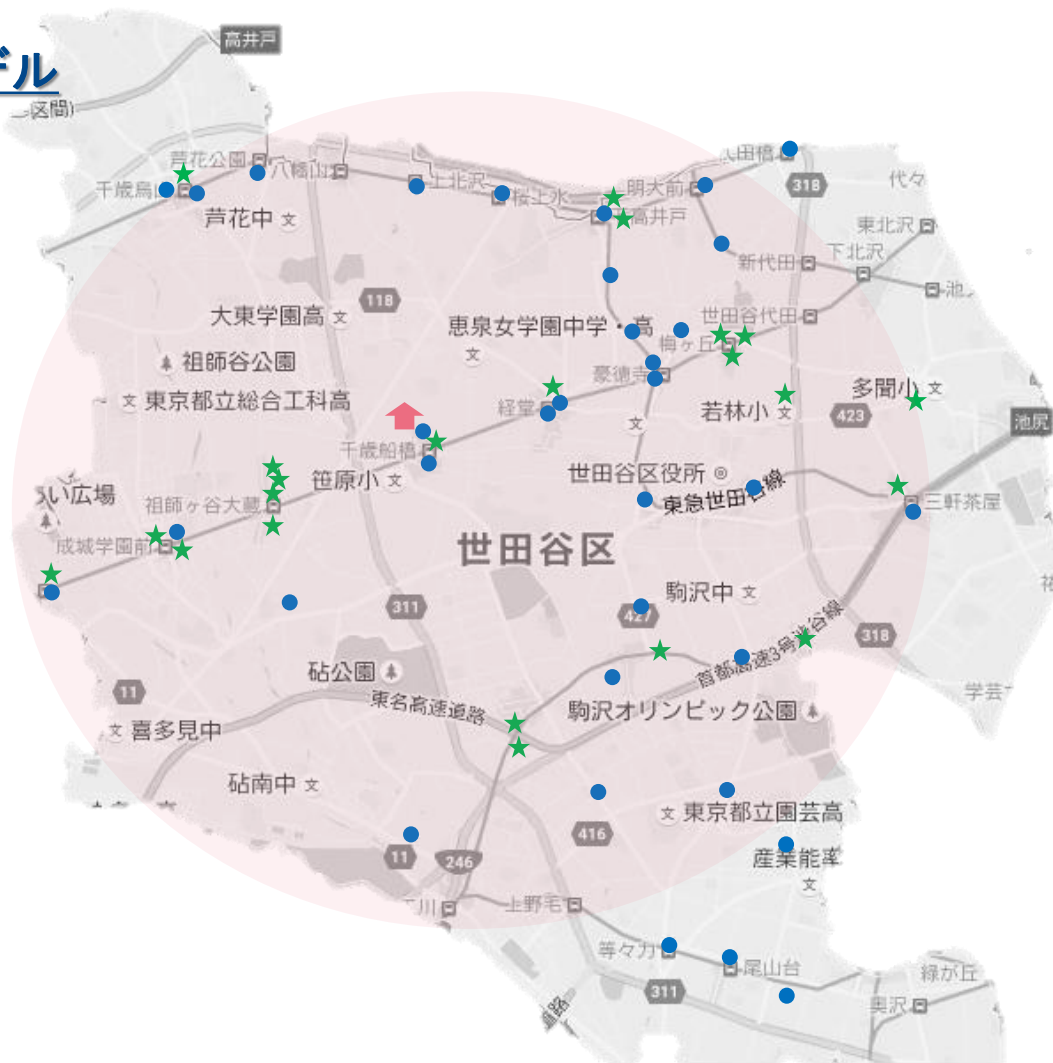
店頭在庫・
価格の確認

アプリと同一
IDでログイン

今後の展開

DMやチラシ、ココカラファイン通信などの販促媒体と連携させながら
カード・アプリ販促を本格稼働させ、1to1マーケティングを実現

世田谷モデル



 (株)山本サービス
 調剤薬局 22店舗
 (併設含む)
 ドラッグストア店舗
 44店舗
 (併設含む)
 (店舗数は2016年9月末時点)

大型健康イベント『ココロ、カラダ、ゲンキ。フェスタ』の開催

10/23 @大阪「グランフロント大阪」
来場者数 6,000人

11/23 @東京「二子玉川ライズ」
来場者数 2万人

(内容)

- ・ 薬剤師による健康チェック
- ・ 管理栄養士による食事相談
- ・ こども向け薬剤師体験会
- ・ ビューティケアプチセミナー
- ・ タレントによるステージイベント
- ・ 協賛企業による健康関連商品のサンプリング



地域の健康イベントの開催・参加

10/9 **新潟シティマラソン2016 @新潟県**

地域のスポーツ大会への協賛、ブース出展

10/9 **カ・ラ・ダ いきいきフェスタ @東京都**

ライオン様と共催イベント、骨密度測定やこども薬局を実施

10/14 **いきいき健康・福祉フェア2016 @北海道**

札幌市主催の健康フェアで、お薬相談と骨密度測定会を実施

10/22 **介護祭り @東京都**

有料老人ホームでの骨密度測定・血糖値測定・体力測定を実施

10/23 **田島直人記念陸上競技大会 @山口県**

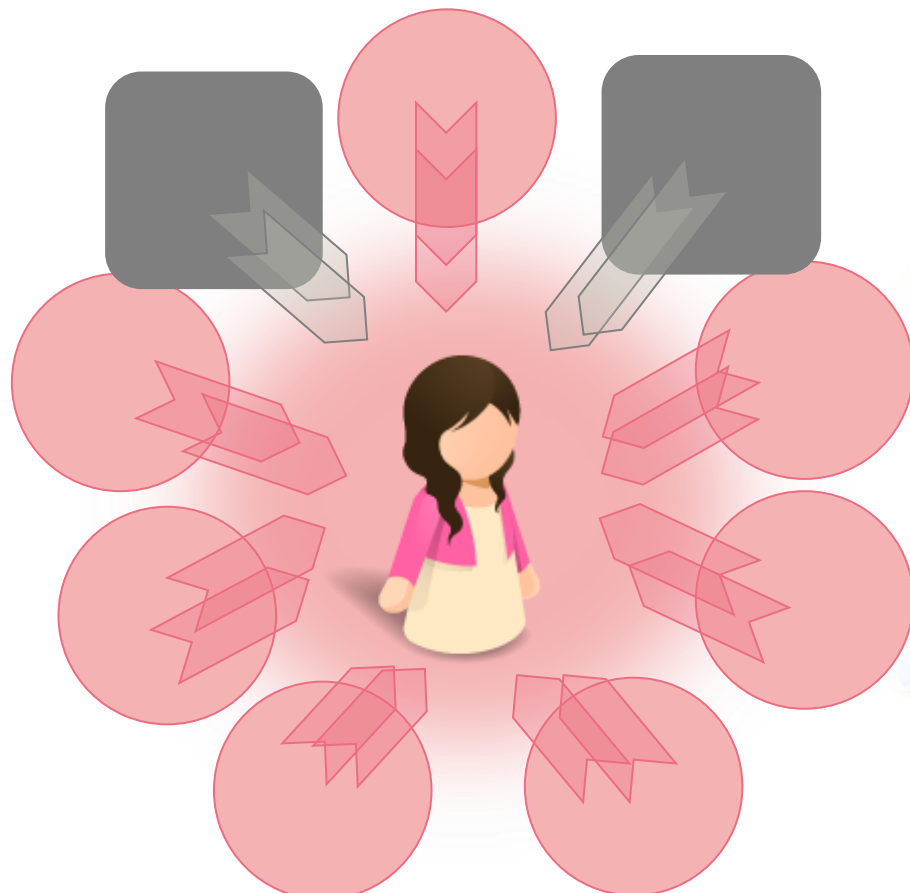
地域のスポーツ大会への協賛、ブース出展

11/13 **世田谷246ハーフマラソン @東京都**

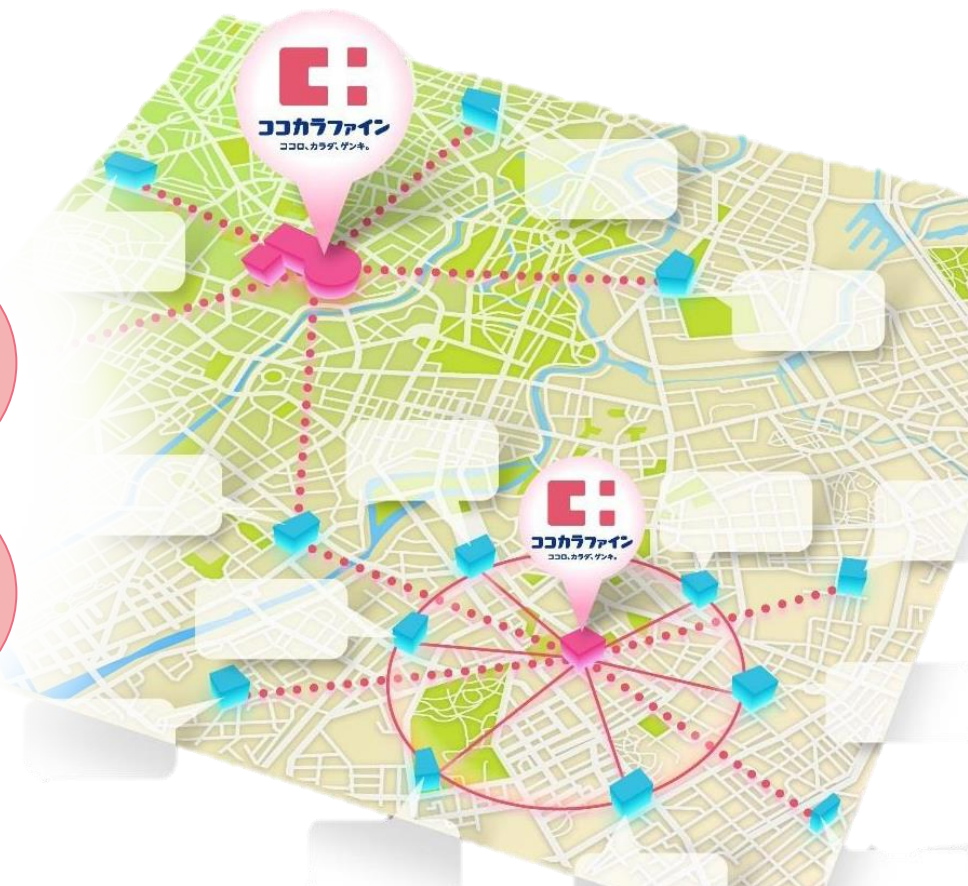
地域のスポーツ大会への協賛、ブース出展



『いつでも どこでも どなたでも ココロ カラダ ゲンキ』を ヘルスケアネットワーク構築により実現する



いつでも どこでも どなたでも ココカラファイン



ヘルスケアネットワークの構築

2020年3月期を最終年度とする中期計画

2016年3月期

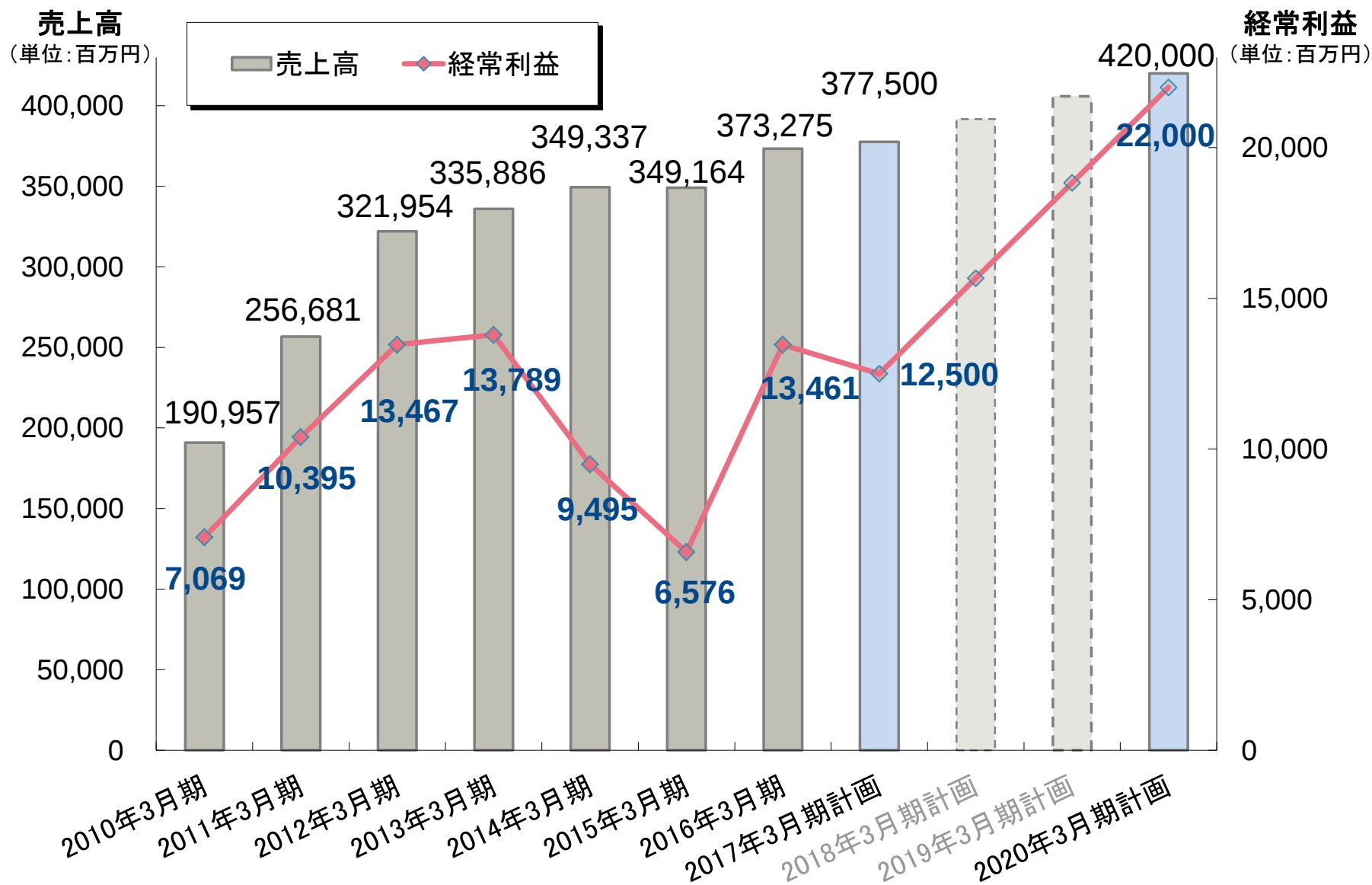
売上高	3,732億円
経常利益(率)	134億円(3.6%)
ROA(経常利益)	9.7%
ROE(当期利益)	9.0%

2020年3月期

売上高	4,200億円
経常利益(率)	220億円(5.2%)

目標とする経営指標

ROA(経常利益)	10%以上
ROE(当期利益)	10%以上



お問い合わせ
株式会社 ココカラファイン
コーポレートリレーション部
TEL: 045-548-5937
FAX: 045-470-3684
<http://corp.cocokarafine.co.jp/>

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。

業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。